

ほくさい 2

JA HOKUSAI INFORMATION

2024・NO.332

JAほくさい公式
Facebookページ
最新情報を
共有します。



JAほくさい公式
LINEアカウント
友だち募集中!



目次

特集「組合員との対話会」～貴重なご意見をいただきました～	2
INFORMATION	4
営農ワンポイント	6
ニュースストーリー	7
かわさと通信／俳句	12
表紙の人／長寿バンザイ／うちのペット自慢	13
西田税理士の税務相談	14
クロスワードパズル	15



 JA ほくさい

特集

組合員との対話会

「貴重なご意見をいただきました」

対話会は、JAの役員が組合員の皆様にご意見を伺い、農家の現状を把握し今後のJA運営に反映させて、農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に繋げることを目的としています。



組合員との対話会開催結果報告

地区名	開催日	時間	出席者人数
行田地区	令和5年12月4日(月)	18:00	13人
川里地区	令和5年12月5日(火)	18:00	16人
羽生地区	令和5年12月6日(水)	18:00	13人
加須地区	令和5年12月7日(木)	18:00	21人
騎西地区	令和5年12月8日(金)	18:00	11人
北川辺地区	令和5年12月11日(月)	18:00	24人
大利根地区	令和5年12月12日(火)	18:00	12人
			合計110人

ご意見・ご要望を一部抜粋して掲載いたします。

●5年、10年後を見据えてJAが主体になっていかなければ生産者も迷ってしまう。主体的にやっていくのが本来のJAの在り方ではないか。

●ほくさい管内の新店舗はもっと親しみやすく行きやすいJAにしてほしい。作業服でも堂々と入りやすいJAにしていきたい。

●統合してからJA職員の覇気が無くなってきている気がします。働きやすい職場。風通しの良い職場。モチベーションの上がる職場にしていきたい。

●再編がありました。上半期が過ぎて、統合後の今の状況はどうなっていますか。

●再編後の金融共済店舗はスムーズだった。安心感・信頼感があった。JAバンクアプリを使用するようになり米販売代金の入金確認がすぐとれて、便利でした。

また、振込機能のPayBを使用してみたら、様々な支払が簡単にできることがわかりました。当初目指した体制を頑張っていたいただきたい。

●猛暑で、米の品質が悪い。県の奨励品種が悪い。変えるようにJAグループが声を上げてやっていくしかないのではないのでしょうか。彩のかがやきが悪い、コシヒカリが悪い。何度目でしょうか。

●コロナ以降、特に一店舗になつてから支店の職員とのコミュニケーションが取りづらいうように思われます。



●TACの他地区との情報交流の実施状況を教えていただきました。

●規格外の価格設定が安いのではないかと。次年度の精算でプラスがあるのでしょうか。高温に強い品種をJA米として品種を追加し、取扱できないでしょうか。

●米の検査について、人による「目検」を行っています。JA Iによる全国で統一した検査はできないのでしょうか。

●水稲新品種「えみほころ」の単収はどのくらいでしょうか。また、JA米になりますか。何年度から供給が始まるのでしょうか。

●直売所でもLINEをつくっていただきたい。17時以降の営業について、期間限定でも夕市などイベントのような形でやっていただければと思います。

●小麦の展望について、水田化できないと小麦への助成金がなくなる。展望をお聞かせください。

●こういう場を設けるといっては、今までなかったので大変良い取り組みだと思います。

●肥料・農薬の注文をネットです注出来ませんか。JA日よりについてもネットでできませんか。

●他の業者と価格がだいぶ違う。市場調査などをやっていますか。園芸農家も資材高騰で苦しんでいるので、しっかりした調査をし、価格を設定していただきたい。



対話会を終えて

各地区で開催されました対話会に参加をいただきありがとうございました。

支店再編を迎えた中で、組合員の皆様の抱えている期待やご要望を、再確認することが出来ました。

対話会を通じた組合員の方からのご意見は、今後の事業に可能なかぎり反映させていきたいと考えております。

今後も組合員や地域の皆様が必要とされるJAを目指し邁進してまいりますので、引き続きご指導・協力を賜りますようお願い申し上げます。

ほくさい農業協同組合 代表理事組合長 大塚 宏



理事会から

12月28日の議案

①第28回通常総代会の開催日程について
全議案承認されました。

税務法律相談 3月4日に加須で開催

JAでは毎月、本店、行田中央支店、加須中央支店と会場を移して土地・建物や税務・法律に関する無料相談を行っています。

幅広い内容の相談に応じますので、お気軽にご相談ください。また、ご相談のある方は事前の予約をお願いいたします。

〈日時〉 3月4日(月)

午後1時30分より

※相談時間は1人30分です。

〈場所〉 JA加須中央支店

〈予約窓口〉

JA本店 資産管理課

(☎048-563-3000)

または各支店窓口へ

遊休資産(土地)の売却について

JAほくさいの所有財産で、現在使用していない下記の物件を売却いたします。

1. 物件情報

物件名	旧行田北支店	旗井一丁目
所在地	行田市大字須加字宿4639番1	加須市旗井一丁目29番1
地目	宅地	田
地積	900.90㎡	653㎡
最低売却価格	5,800,000円	22,000,000円
売却条件	◎ 土地については公簿面積および現状有姿での売却といたします。 ◎ 所有権移転費用等一部の費用については買受者負担といたします。 ◎ 物件に対して買受希望者が複数の場合は入札といたします。	

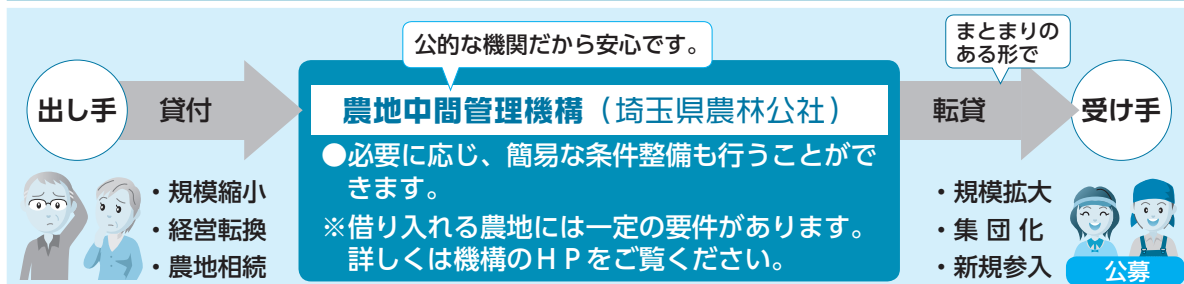
2. 申込方法 物件の詳細や入札の方法につきましては、令和6年4月下旬に当組合ホームページ (<https://jahokusai.jp/>)へ「不動産売却案内書」を掲載いたします。

3. 問合せ先 企画管理部企画管理課 今村・永沼 ☎048-561-6911

農地中間管理事業を活用しましょう！

- (公社) 埼玉県農林公社は、農地中間管理機構として県から指定を受け、市町村とともに、意欲ある担い手に農地を貸し出し、生産性の向上を目的とする「農地中間管理事業」に取り組んでいます。
- 地域的に農地の利用調整をすすめている場合は、農地がある市農政担当課や農業委員会（農業委員ならびに農地利用最適化推進委員）、または下記のお問い合わせ先にご相談ください。
- (公社) 埼玉県農林公社は、埼玉県や各市町村、JA等各種農業団体で構成されている公益法人ですので、安心して農地をお貸しいただけます。

農地中間管理事業のしくみ



お問い合わせ先 埼玉県農地中間管理機構 (公益社団法人埼玉県農林公社) または、最寄りの市町村・JAへ

〒361-0013 行田市大字真名板1975番1 ☎048-558-3555 FAX 048-558-3558

E-mail nouchi@sainourin.or.jp

埼玉県農林公社 検索



JAほくさい
ガスセンター
より

令和4年度 LPガスの 警報受信状況のご報告

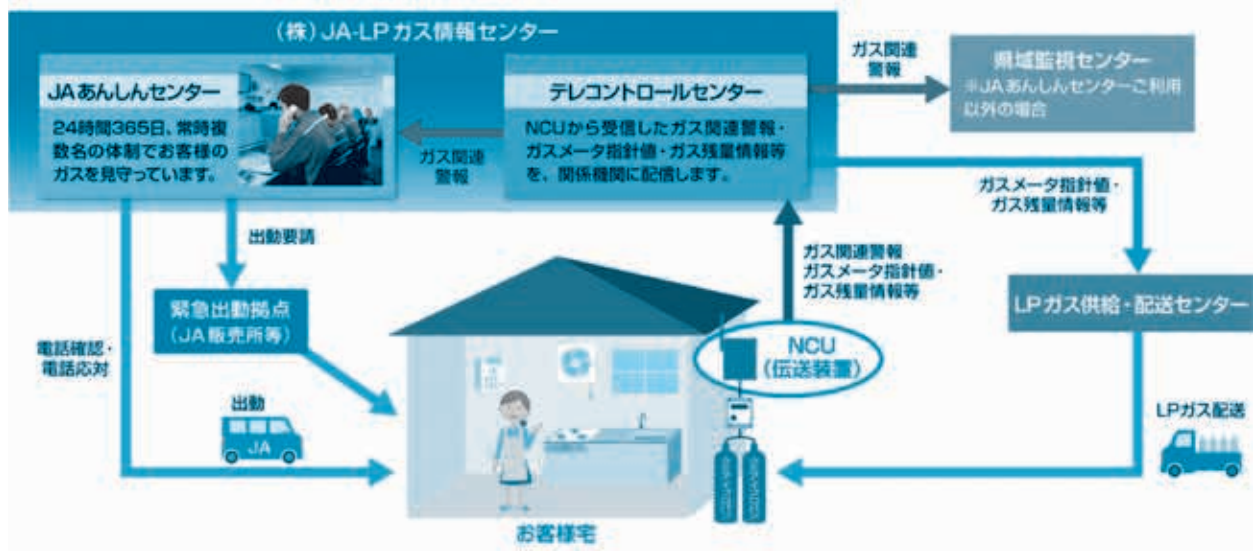
安全装置付きのガス器具のご利用・交換をお勧めします

日頃JAのLPガスをご利用いただきありがとうございます。
令和4年度1年間で、約50件のガスの消し忘れ等による警報の受信が
《JAあんしんセンター》にございました。

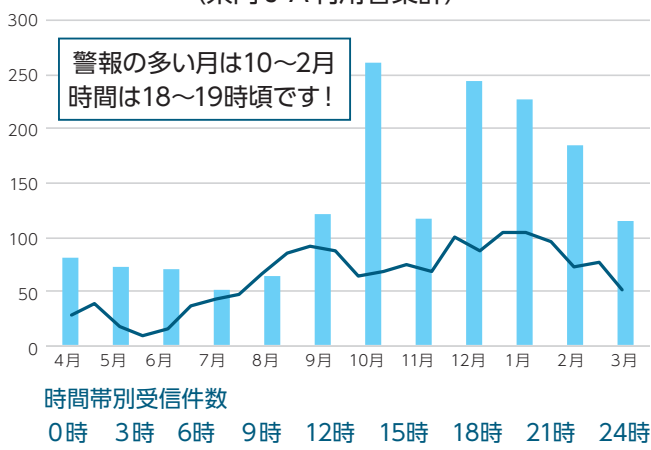
ガスをご使用になる時は、**消し忘れ・換気**にご注意ください。
天ぷら火災などを防止するSiセンサー付コンロなど安全装置付きの**ガス器具**のご利用・交換をお勧めいたします。



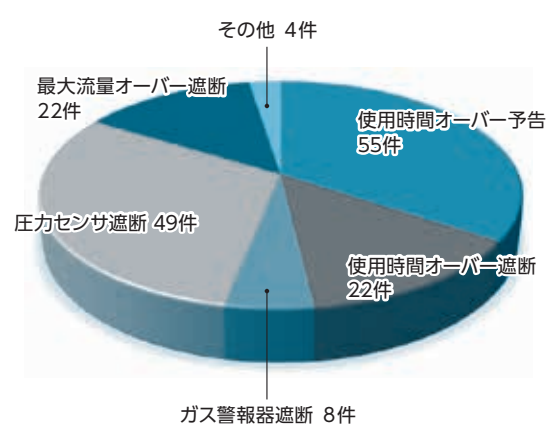
ご相談・お問い合わせはコチラまで
JAほくさいガスセンター
☎ 048-561-8411



★月別・時間別警報受信件数
(県内JA利用者集計)



(JAほくさい管内)
R4年度警報受信内容



日本梨花粉の確保に向けて



本誌11月号では、果樹の火傷病に関する情報を掲載しました。本号は、今後の安定的な日本梨花粉の確保に向け、苗木及び若木の管理と花粉の長期（1年間）貯蔵方法について掲載します。

2 定植1年目の管理

(1) 土壌の乾燥防止対策

(定植後～6月)

株元にマルチをしましょう。3月中旬以降、梅雨入りまで週に1回20ℓかん水しましょう。

(2) 施肥（4～8月）

株元から30～50cm程度離して1カ月に1回、化成肥料をひとつかみ施用しましょう。

(3) 新梢の誘引（5～8月）

(ア) 苗木から20cm程度離して支柱を立て、主枝候補となる新梢が50cm程度伸びたら支柱に誘引しましょう。基部が欠けやすいので、注意しましょう。
(イ) その後、テープナー等で伸びたそばから新梢を誘引しましょう。

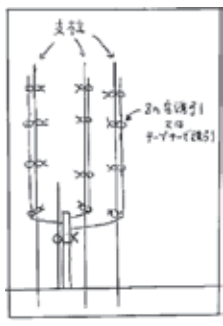


図1 苗木の新梢誘引

(ウ) 主枝候補枝以外の新梢は葉

面積確保のため主幹に引き下げて誘引しましょう。

(4) ジベレリン処理

(4～7月)

主枝候補の新梢の基部にジベレリンペースト100mgを塗布しましょう。主枝候補枝の新梢の先端は6月上中旬になると先端が停止します。停止後、先端の芽（頂芽基部）にジベレリンペーストを100mg塗布して二次伸長を促しましょう。



図2 主枝候補枝の新梢の基部へのジベレリンペースト塗布

(5) 主枝候補枝を棚下へ

(10月上中旬)

棚下に主枝候補枝をくぐらせましょう。10月上旬～中旬が折れにくいです。先端を持って引き下げましょう。

花粉の長期（1年間）貯蔵方法

次年産で花粉の不足が生じ

ないよう、以下の対策を実施しましょう。

1 花粉の採取

発芽率の高い花粉を得るため、①開花1～2日目の風船状の蕾を採取します。②次年産の受粉用に限定して花粉を採取します。（受粉作業で一度使用した花粉を使いまわししない）

2 品種

①遺伝子型が同じ花粉では結実しないので、左記の表を参考にしながら受粉に適した品種の花粉を採取してください。（注意：「彩玉」と「豊水」は不和合性を示す）②受粉用品種の「松島」や「新興」だ

S遺伝子型	品種
S1S3	凜夏
S1S4	はつまる、八雲
S1S5	長寿、あきあかり
S1S7	豊月
S2S3	長十郎
S2S4	二十世紀、菊水
S2S5	八里
S2S9	愛宕
S3S4	あきづき、甘太、筑水、なつしずく、秋麗、香麗
S3S5	豊水、彩玉、あけみず
S3S9	新高、石井早生
S4S5	幸水、王秋、新水、愛甘水、秀玉、多摩、喜水
S4S9	新興、南水、南月
S5S6	新雪
S5S7	晩三吉
S5S9	にっこり、平塚16号（かおり）
不明（上記以外）	松島

表 日本梨品種のS遺伝子型

けでなく、「豊水」「幸水」も高い発芽率の花粉が得られます。

3 保存方法

①開花後すぐの花粉を小さじ1杯程度ずつ小分けにし、パラフィン紙等で包みます。（粗花粉でも、精選した純花粉でも貯蔵できます）②タッパーなどの密閉できる容器にシリカゲルなどの乾燥剤と共にパラフィン紙等に包んだまま花粉を納めます。（乾燥剤の量は容器の容量の1/3が目安です）③低温で貯蔵するほど発芽率は高く保てるので、冷蔵庫の「冷凍室」で貯蔵します。できれば、開閉の少ない冷凍庫が良いです。④乾燥状態を保つため、数日後に乾燥剤の色が変わっていたら新しいものと取り替えます。（シリカゲルの場合、湿気状態だと青からピンクに変わります）⑤来年使用する際には、発芽試験を行うことが望ましいです。（発芽率が30%以上であれば使用できます）

加須農林振興センター
農業支援部
0480(61)3911

新井健一さん、順子さん夫妻が緑白綬有功章を受章されました

11月15日に行われた公益社団法人大日本農会の令和5年度農事功績表彰において、行田市長野の新井健一さん、順子さん夫妻が緑白綬有功章を受章し、その報告のため、12月5日にJA本店を訪れました。



緑白綬有功章



左から表彰状を手にする新井順子さんと新井健一さん、大塚宏組合長

緑白綬有功章は、農業改良の奨励など、地域農業の発展に貢献した農業経営者を表彰するもので、新井さんはスマート農業への取り組みや、指導農業士として担い手確保・育成などの活動が評価され、受章されました。

また、学校給食向けの出荷先確保や稲わらの有効活用による地域内資源循環と畜産振興を推進し、更なる効率化を実現しました。

新井さんは「農業を始め44年、妻と頑張ってきたことが受章につながり大変嬉しく思う。これからは、担い手の育成に尽力し地域農業の活性化に努めたい」と話しています。



「紅ほっぺ」を収穫する加藤さん



「べにたま」を収穫する飯塚さん

各地でイチゴ出荷スタート

加須市の北川辺いちご部で、12月1日から「べにたま」の出荷が始まりました。

同部は「べにたま」を部員全員の8人で出荷、栽培面積の合計は80㍍です。

今年から高設栽培で「べにたま」を栽培している同部の飯塚晃大さんは「べにたまは収穫始めから瑞々しく、濃厚な甘みとさわやかな酸味でバランスが良く、飽きの来ない味が楽しめる。是非たくさんの方に味わってもらいたい」と話しています。

また、加須市の大利根地域で12月13日からイチゴの出荷が始まりました。

大利根地域の苺組合7組織計13人の生産者が「紅ほっぺ」「やよいひめ」「あまりん」などの品種を1.8㍍栽培しています。

「紅ほっぺ」を約6.6㍍栽培する加藤秀夫さんは「形状も良く、甘みののったイチゴに仕上がりに、自信を持って出荷できる」と力を込めました。

加須市古来の伝承「いちっこ地蔵」がミュージカルに

(一社)埼玉県子ども食堂ネットワークは1月7日、加須市の市民プラザかぞで、NPO法人ミュージカルかぞ(代表相澤直美)のミュージカル「いち」の上演を含む3部構成のワークショップを開きました。

「いち」は、加須市古来の伝承『いちっこ地蔵』をもとに、1786年(天明6年)の前横村



劇中「会の川」の氾濫シーン



参加者にミュージカルを教える阿瀬見さん(右)

(現在の加須市礼羽)を舞台に、農家の営みや村民が手を取り合い、困難を乗り越える逞しさを描いたミュージカル。

加須市出身でオペラ歌手の阿瀬見貴光さんが総監督を務め、団員が力強い歌声と豊かな表現力で観客を魅了しました。2部では参加者が、阿瀬見さん指導のもとサウンドオブミュージックの挿入歌「私のお気に入り」を歌い踊り、ミュージカルを体験。3部では同ネットワークが参加者におむすび弁当を振舞いました。

同ネットワークの東海林尚文代表理事は「アートと福祉の連携による化学反応で、孤立する人が一人でも減る社会が実現できるように、今後も活動していきたい」と意気込みを語りました。

行田でブロッコリー目ぞろえ会

行田園芸組合ブロッコリー部会は12月7日、行田営農経済センターで、生産者やJA職員、市場関係者ら10人が集まり、ブロッコリーの目ぞろえ会を開きました。

春先までの出荷のため、規格の統一をはかり有利販売に繋げることが目的です。

生産者は持ち寄ったブロッコリーを等級別に並べ、秋冬ブロッコリー検査規格表を確認しながら、形状や花蕾の大きさ、色などを手に取って確認しました。

生産者の江森秀敏さんは「高品質のブロッコリーを出荷したい」と意気込みを語りました。

同部会の生産者は6人で、2畝を栽培。

3月中旬まで3,000箱（1箱4*）を出荷する予定です。



定規でブロッコリーの花蕾を測る生産者



正月花

女性部2支部がフラワーアレンジメント

12月29日にJA女性部の騎西中央支部と羽生支部は、騎西営農経済センターとJA本店でフラワーアレンジメント教室を開きました。参加者は合計32人。講師は、フラワーコーディネーターの川畑久子さん。

寿松や千両など正月飾りには欠かせない花材を、ピンクのオリエントリリーなどとあわせアレンジを楽しみました。

参加者は「フラワーアレンジをすると気持ちも整う。お正月を迎える準備も頑張れる」と話していました。



騎西中央支部のみなさん



羽生支部のみなさん

北川辺営農経済センター須賀係長が全国大会で地区別優秀賞受賞

11月16日、17日に横浜市の新横浜プリンスホテルで行われた「TACパワーアップ大会2023」で、北川辺営農経済センターの須賀大輔係長が、地区別優秀賞に輝きました。

須賀係長は、北川辺いちご部に「とちおとめ」から市場評価が高く高収益が見込める「あまりん」と、多収で収穫時期が早く食味のよい「べにたま」へ品種の切り替えを提案。果実が転がらないように収穫箱の工夫や、暖候期以降の品質保持のための細霧冷房システムの導入などに努めました。

須賀係長は「令和3年度から試験栽培を始め、令和5年度で「とちおとめ」と比較したキロ単価は2.9倍（あまりん）、1.5倍（べにたま）となった。これからも組合員の所得増大に向け尽力したい」と話しています。



賞状を手にする須賀係長

各営農経済センターで肥料・農薬相談会開催



農薬メーカーから説明を受ける落合さん㊦

JAは、12月2日から14日にかけて各営農経済センター等7店舗で肥料・農薬の展示相談会を開きました。

春用肥料・農薬の推進期間中に、米麦と園芸農家等を対象に、効果的な使用方法や新商品を紹介することが目的です。

行田市で米農家を営む落合哲男さんは「肥料や農薬の適用をJAに相談しながら注文できるので、助かっている」と話していました。

種子用大豆「里のほほえみ」収穫

12月25日に加須市のほ場で、加須市の榊とりうみファームが、栽培する埼玉県奨励品種の大豆「里のほほえみ」を収穫しました。

同社は埼玉県の要請で、昨年から「里のほほえみ」の種子大豆を1畝栽培しています。

カメムシなどの害虫については防除を適切に行い、圃場審査の結果は全て適正となりました。

6月下旬の播種後、夏期の高温・干ばつによる影響で、実入りの少ない莢（さや）が目立つことに、同社の鳥海充代表取締役は「猛暑での大豆栽培の経験を来年に活かして、今後も「里のほほえみ」の生産量拡大に向け、種子大豆を栽培していく」と意気込みを語りました。



汎用コンバインで「里のほほえみ」を収穫する鳥海代表

年金友の会会員の集い開催

J A年金友の会は12月4日から14日の9日間、加須市むさしの村で「年金友の会会員の集い」を開き、約1,100人が参加しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、4年振りに開催しました。

式典・講演と歌謡ショーの2部構成で進行。第一部の式典では年金友の会支部長や大塚宏組合長らが挨拶し、日頃のJ A利用への感謝を伝えました。また、管内の警察署の警察官が特殊詐欺について講演しました。

2部では、渥美二郎さんの歌謡ショーを開催。数々のヒット曲を熱唱し、会場を盛り上げました。代表曲の「夢追い酒」や「釜山港へ帰れ」が披露されると、参加者は歌詞を口ずさみながら楽しんでいました。



式典で挨拶する大塚組合長



挨拶する年金友の会箱島登会長



参加者と握手する渥美二郎さん

J Aが少年スポーツ大会に協賛

12月17日に加須市の騎西総合体育館「ふじアリーナ」で加須市スポーツ少年団バレーボール部会主催の「令和5年度加須市クリスマスカップ」が、12月23日に同市のS F Aフットボールセンターで、加須市スポーツ少年団サッカー部会主催の「第2回ほくさいカップ少年サッカー大会」が開催されJ Aは両大会に協賛しました。

J Aは、トロフィ、メダル、バレーボール、パックご飯の「J Aほくさいのごはん」、スポーツドリンクを寄贈しました。両大会とも、J A共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、地域の子育て支援を目的としています。

クリスマスカップには12チームが参加し、「ラッキークーラビット」が優勝しました。敢闘賞のV O R T E X加須みらいの小国鈴花キャプテンは「いつも試合で緊張してしまいが、サーブとスパイクが決められて嬉しかった」と話していました。

ほくさいカップサッカー大会には、8チームが参加し、レドンドFCが優勝しました。

レドンドFCの奈良日向吾キャプテンは「初めて参加した大会で、チーム一丸となり優勝できて嬉しい」と喜びを語りました。



バレーボール大会で敢闘賞のチームにトロフィを贈る大澤常務



バレーボール大会に寄贈したトロフィなど



サッカー大会の優勝チーム



サッカー大会に寄贈したトロフィなど



カリフラワーを収穫する
永沼統括マネージャー

ほくさいグリーンアグリがカリフラワー出荷

株式会社ほくさいグリーンアグリは12月15日から、カリフラワーの出荷を始めました。

同社は、JAほくさいが100パーセント出資する出資型法人で、農作物の生産及び販売、農作業の受託などを行います。

同社は12月19日に羽生市のほ場約10㍓で、カリフラワーの収穫を行いました。

このほ場は、耕作者から返却された地主が同社に除草等のほ場管理を依頼した土地で、土壌診断した結果、野菜類の栽培に適した土壌で水はけも良かったので、カリフラワーの栽培に挑戦しました。

同社の永沼竹彦統括マネージャーは「きれいな花蕾で、ほんのり甘いカリフラワーに仕上がった」と話し、「耕作できない農地が増えると思うが、生きた農地に変えていけるよう尽力したい」と意気込みを語ります。

JA女性部騎西中央支部が料理教室

12月12日にJA女性部騎西中央支部が、加須市の田ヶ谷総合センターで料理教室を開きました。

参加者は25人。

部員は、米粉の焼きりんごケーキと手打ちうどん、天ぷら3品を調理しました。

また、恒例のキムチのたれも手際よく作りました。

同支部の藤井正子部長は「部員たちと楽しく調理できた。今後も部員たちと相談して楽しい活動を企画したい」と話しています。



天ぷらを調理する部員のみなさん

加須農産物直売所協議会が県外研修



カネコ種苗職員④から蕪の栽培について学ぶ参加者

加須農産物直売所協議会は12月5日に、群馬県のカネコ種苗(株)のくにさだ育種農場で研修を行いました。参加者は24人。

同社の職員から、会社概要などの説明を受けた後、露地野菜の種の特徴や栽培方法を学びました。

同会の山崎博行会長は「直接種苗会社から野菜の栽培方法を聴けて、大変勉強になった。会員同士の親睦も図れた」と話していました。

各直売所で年末感謝セール

12月23日から30日にかけてJAの各農産物直売所で年末感謝セールを行いました。

お米の特売の他、限定の粗品プレゼント、各利用協議会の催しなど、盛りだくさんのイベントに、多くの利用者が訪れ大変賑わいました。



行田農産物直売所利用者に豚汁を振舞う行田直売所女性部員ら



羽生農産物直売所でサツマイモの詰め放題を楽しむ利用者⑤

青年部とJA役員が意見交換

JAほくさい青年部は12月22日にJAほくさい常勤役員との意見交換会をJA本店で開きました。

青年部と、JA役員15人が参加しました。

同部の岡博和部長が「肥料や農薬のオンライン注文など検討できないか」との意見に、大澤治雄常務は「試験的に他のJAでオンライン注文の受付を行っている。当JAでも導入に向けてスピード感をもって対応したい」と回答するなど、活発な意見交換会となりました。



意見交換会の様子

ふれあいジュエリー展開催



ジュエリーを選ぶ組合員④

JAはJA本店で、12月14日、15日の2日間「JEWELRY FAIR 2023 ふれあいジュエリー展」を開きました。

宝飾品を末永くご使用いただき、「親から子へ、子から孫へ」と大切に引き継がれるようにアフターサービスを重点に、安心して楽しみながら購入できる展示会を企画しました。

2日間の来場者は34人、修理件数61点でした。

自分へのご褒美や娘へのプレゼントにジュエリーを買い求める方や、スーツを新調する男性客で賑わいました。

営農経済部の山岸雅明部長は「たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。これからも、組合員の皆さまに喜んでいただけるようなイベントを企画します」と話しています。

プロ野球選手が少年野球指導

12月17日に加須市のかぞきずなスタジアムで、加須市スポーツ少年団主催の「第3回加須きずな野球教室」が開かれました。

JAは、この催しに協賛しました。

花咲徳栄高校野球部出身のプロ野球選手が、子供達とふれあい、野球の技術指導をしました。

参加者は222人。

参加した大桑ジャイアンツの真中大主将は「野球の基本や、レベルの高い指導を受けられてよかった」と笑顔を見せました。

加須市出身のオリックス・バファローズの若月健矢選手は「毎年このイベントを楽しみにしている。来シーズンも子供達に誇れるように頑張りたい」と話していました。



右から
大塚組合長、若月選手、
蓮見専務



子供に捕手のキャッチングを指導する若月選手④

JAが家の光大会で3部門で表彰

11月20日むさしの村で、令和5年度「埼玉県家の光大会」が開かれました。

JAのファミリーマガジンとして組合員の皆さまにご愛読いただいた結果、JAほくさいは『家の光』普及率優良JA、『ちゃぐりん』8月号特別普及運動増部JA、「家の光図書」記念品図書活用JAの3部門で表彰されました。



埼玉県中央会坂本富雄会長④と
賞状を手にする大塚組合長

埼玉県種苗センター

鴻巣市関新田1693-1

かわさと通信

各地区の編集委員が自慢の人・モノ・場所を
ご紹介します。

今回は**川里地区**です。



種苗センター管理研修棟外観



鉄骨ビニールハウス



小麦(品種:あやひかり)の原種生産圃場

種苗センターは、健全で優良な種苗の効率的な生産と県内生産者への迅速な供給を行うことによって、本県農業の振興に資するため、平成6年に設置されました。県の農業技術研究センターなどで育成した新品種や水稲・麦類・大豆の原種、いちごや竜胆(りんどう)のウイルスフリー株など優良な種苗を増殖し生産者に供給しています。

また、生産者や県民から委託された野菜・花の成型苗やなすの接ぎ木苗、野菜・花のポット苗、水稲箱苗の生産を行っています。

現在(1月)は、いちごの春苗(やよいひめ・あまりん・かおりん・べにたま)を準備しており、3月から4月にかけて出荷を予定しています。

令和6年度からは、新たに飼料用米専用品種「むさしの26号」の苗生産にも取り組むこととしています。

【主な施設】

管理研修棟	1棟	1,078㎡	1階に培養施設と事務室、2階研修室他
ガラス温室	12棟	2,040㎡	竜胆・わけねぎウイルスフリー苗の育成
鉄骨ビニールハウス	4棟	3,528㎡	いちごウイルスフリー苗の育成
育成ハウス	12棟	2,592㎡	成型苗、接ぎ木苗等の育成
原種貯蔵棟	1棟	312㎡	水稲、麦類、大豆の原種を低温で貯蔵

俳句

折原野歩留選

鬼よりも大きな力士節分会

羽生 長瀬 三男

(評)節分は立春の前日に行われるが、神社や寺院では昼間から追儺式が行われ力士や芸能人を呼んで豆まきをする。

追儺の鬼は地元の氏子や信徒が扮する。大柄の力士から見ればいかに鬼でもひとたまりもない。大小の取り合わせが絶妙で逃げ惑う鬼の滑稽さが見る人に優越感を与える。

鍛始めやがて本気の汗となり

地下足袋を履くたび春の気配かな

感謝して今日を生きるや冬薔薇

汚れなき小春の空に棟上がる

猫背して庭駆け回る年の暮

袖子の香に命預けて長湯かな

遠富士のぐんと近寄る霜の朝

日向ぼこ猫は伸びして席ゆるずる

終活は先送りして年の暮

お日様は神様ですと日向ぼこ

年の暮無用の用にも心急ぐ

わが庭の標と咲けり水仙花

日向ぼこ移動スパー揃い顔

春水を桶の瓶に注ぎけり

ひもじくて熊穴入らず山下る

午前五時ひかるオリオン手のとどき

女正月化粧を少していねいに

大根や育ち過ぎたと嘆かれり

枯木枝に鼻のいる月の庭

シクラメン我が玄関にかかせない

文化祭秀逸の友すでに亡く

※4月号への投句は、2月22日(必着)までに、

〒348-8513 JAほくさい営農支援課(住所不要)

宛てにお願いします。

応募資格はJAほくさい管内にお住いの方。誌面等の都合により投句いただいたすべての方の句を掲載することはできませんので、あらかじめご了承ください。

羽生 五月女文子
大利根 野口 勇一
羽生 長谷部愛子
羽生 樋口登美子
行田 萩原 増夫
騎西 戸田 達子
加須 野中 栄子
羽生 多田千代子
川里 黒巢 友子
行田 永沼規美雄
川里 井上美智子
加須 松永 喜芳
川里 木暮 浅代
羽生 木本 政秋
騎西 泉津井 清
行田 田沼 絹子
騎西 荒井 王子
羽生 根岸 栄一
行田 平井 昭政
加須 田村 有里
加須 田島 許子

インボイス制度開始後の消費税の申告と手続きはどうするの



JAほくさい顧問税理士
西田 芳秋 氏

質問

私は20年前から農協の直売所などへ年間500万円ほどの野菜を出荷しております。令和5年9月30日までに適格請求書（インボイス）の発行事業者を登録しました。同時に簡易課税の選択届出書も提出しています。今まで消費税の課税事業者になったことがなく初めて提出する消費税の確定申告に戸惑っています。納めるべき消費税額はどのように計算するのですか。近々息子へ経営を移譲する約束をしています。これから息子がインボイスの発行事業者を登録するには、いつまでにどんな手続きが必要ですか。

回答

消費税の確定申告

令和5年分の消費税の確定申告は、令和6年1月1日から6年4月1日まで受付られます。すでにインボイスの発行事業者として登録されていますので、届出書を提出しなくても消費税の課税事業者になります。令和5年分の課税期間は10月1日から12月31日までの3ヶ月間です。消費税の申告書には課税期間における直売所や庭先での販売高（課税売上高）に係る消費税額、生産原価や諸費用（課税仕入）に係る消費税額、その差額（本則計算）を記載して納税します。なお、今年には消費税の申告様式が変更されましたので留意して下さい。

簡易課税（仕入控除の特例）

簡易課税制度は中小事業者（前々年の課税売上高が五千万円以下である事業者）のために、みなし仕入率による仕入税額を計算する特例です。課税売上高に係る消費税額にみなし仕入

れ率を乗じたものを控除対象仕入税額とします。本則計算によると野菜農家の場合の仕入率は45%程度ですが、簡易課税制度を選択すると農家は第三種とされみなし仕入率を70%として計算することができます。軽減税率が設けられたことよって、野菜やお米などの食料品を生産する農家は第二種とされ、みなし仕入率は80%になりました。なお、簡易課税のみなし仕入れ率のうち花卉や酪農畜産は第三種の70%、農機具の下取りは60%、農作業を受託した場合は60%になります。

有利な2割特例

インボイス制度の導入によって免税事業者が課税事業者になった場合の負担軽減策として、令和5年10月1日から令和8年12月31日までの消費税の課税期間に限り、「2割特例」が設けられました。飲食料品だけでなく課税売上に対する消費税額の2割を納めればよいとする特例です。野菜やお米を生産する農業者が簡易課税制度を選択した場合の納税額は売上に係る消費税額も2割相当ですが、2割特例は簡易課税制度の特例を受け

ていなくても適用することができます。売上の中に飲食料品のほか花卉、酪農、畜産、農作業の受託収入、事業用資産の売却代金などが含まれている場合は2割特例を適用した方が有利です。2割特例を受ける場合は申告書上に適用を受ける旨をマークするだけでよく、届出等の手続きは不要です。

簡易課税か2割特例か

なお、簡易課税を選択している場合であっても、この課税期間においては申告時に2割の特例を選択することができます。2割特例はインボイスの登録をしなければ免税事業者となるような小規模事業者を対象とするだけに、基準期間における課税売上高が一千万円を超える課税事業者、すでに課税事業者選択届出書を提出している場合、課税期間の短縮の特例を受けている場合には適用がないので留意して下さい。

消費税の確定申告と所得税の必要経費

例えば、令和5年の課税期間中の野菜の売上高が216万円であった場合の課税標準額は200万円（216万円×100/108）、この消費税は124,800円（200万円×6.24%）、控除対象仕入税額は99,840円（124,800円×80%）、納付すべき消費税額は24,960円（124,800円×99.84%）になります。納付すべき地方消費税は7,000円（24,960円×1.76/6.24）、納付すべき

消費税および地方消費税の合計税額は31,900円になります。この31,900円は令和6年分又は令和5年分の農業所得の計算上必要経費に計上することができます。なお、納付すべき消費税の額は百円未満を切り捨てます。

相続があった場合の2割特例

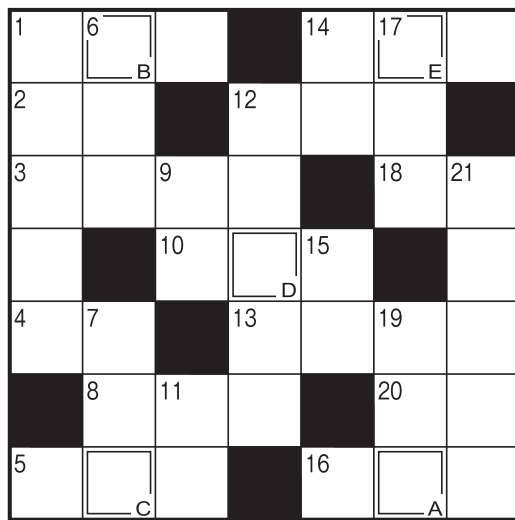
インボイスの登録開始日の前日までに相続が発生し、被相続人の基準期間中（前々年）の課税売上高が一千万円を超える場合は20%特例の適用はありません。相続人がインボイスを登録した後には相続が発生したときは、被相続人の基準期間中（前々年）の課税売上高が一千万円を超える場合でも、相続があった年についてだけは2割特例を適用することができます。

これから始めるインボイス

父が登録したインボイスの発行事業者の地位を経営移譲することはできません。息子さんは所得税における開業届、青色申告承認申請などとともに、改めて適格請求書発行事業者の登録申請が必要です。この登録申請書の提出期限は登録を受けようとする日の15日前までに税務署長に提出しなければなりません。免税事業者が適格請求書発行事業者を登録して消費税の課税事業者になった場合は、課税期間の途中でも消費税の簡易課税選択届出書を提出して、仕入税額を簡易課税制度によって計算することができます。



文字を並べ何言葉でしょうか？
A～Eの順にマスの順番でマスを埋めてください。



(出題) ニコリ

- ヨコのカギ
- 最低気温が0度より低い日
 - 現代人は電子——に囲まれて暮らしています
 - 水筒に入れます
 - ヒヒーン！といもなく動物
 - スマホに入れたり消したりします
 - ベッドが2つある部屋
 - 類のこと。——ダンス
 - スラロームやモーグルなどの種目があります
 - 人がいっぱいに入っている状態
 - 西アジアの国の1つ。首都はアンカラ
 - 空気が乾燥しているので——器をつけた
 - 節分の豆を——の数だけ食べた
 - 実がなるまでの期間が短めの品種のこと

- タテのカギ
- フキの花茎のこと
 - 銀世界を眺めて楽しめます
 - ガイド——を片手に観光地を巡った
 - 安倍川にして食べようかな、磯辺巻きもいいな
 - 日没のことを日の——ともいいます
 - 雪だるまを英語(片仮名語)でいうと
 - 佐渡島にはこの鳥の保護施設があります
 - 漢字には音読みと——読みがあります
 - 平方根を表す記号
 - 魚偏に「弱」と書きます
 - 中国や台湾の旧暦の正月



←1月号の答
ハツヒノデ

・締切は令和6年2月末日到着分まで。
・正解者には抽選により賞品をお贈りします。
・個人情報の取り扱い…この応募用紙は抽選と商品発送およびご意見掲載の目的以外には使用いたしません

＜応募の方法＞
・ハガキに答え、住所、氏名、年令、電話番号を記入のうえ、〒348-8513 JAほくさい 営農支援課宛送付(住所の記入は不要です)、または各支店・営農経済センター窓口へお持ちください。ご応募はJAほくさい管内(行田市・鴻巣市川里地区・羽生市・加須市)にお住まいの方に限らせていただきます。
・応募の際、ご意見、本誌へのご感想などをお書き添えください。中から「ほくさい」に掲載させていただくこともあります。

「ぞいましてら〜」

☆12月号クロスワードパズルの当選者は次の8名です。
記念品をお贈りいたします。

- ☆大澤 初代さま(行田)
- ☆安藤 恵子さま(川里)
- ☆田口はつ江さま(羽生)
- ☆加藤 好子さま(加須)
- ☆小森谷 勝さま(騎西)
- ☆田口 哲三さま(騎西)
- ☆櫻井 敏子さま(北川辺)
- ☆梅山 要市さま(大利根)



編集後記

年が明けて、あつという間に2月になりました。私事ではありますが、昨年はコロナとインフルをダブルで患い、健康が一番だと痛感いたしました。2月4日は立春、暦の上では春がやってきます。しかし、ここから本格的に寒い日が多いでしょうから体調管理を心がけたいと思います。

R・N

除草剤大型規格 キャンペーン!!

キャンペーン期間

令和6年4月30日まで

吸収力が違う!

**ラウンドアップ
マックスロード**

- 大量に取り込まれた活性成分が
突然の雨、低温、朝露にも効く!



対象商品:
5.5ℓ、20ℓ、200ℓ

茎葉処理型除草剤

パスタ 液剤

大切な作物のそばに

- 幅広い登録作物数
- 作物、人畜、環境にやさしい
- 殺草スペクトラムが広く、
問題雑草にも高い効果



対象商品:
10ℓ、20ℓ、40ℓ*

ダブル展着効果でパワー除草!

タッチダウンiQ

- サッと広がり、
スッと染み込み、根まで枯らす!
- 枯れ始めが「速い」、
抑草期間が「長い」



対象商品:
6ℓ、20ℓ、200ℓ

※ 完全予約受注生産品です。 申込期間: 第1回申込 令和6年1月19日(金)迄、配送期間: 令和6年3月4日(月)~5月24日(金)
第2回申込 令和6年3月1日(金)迄、配送期間: 令和6年4月9日(火)~6月13日(木)

対象商品:ラウンドアップ マックスロード5.5ℓ、20ℓ、200ℓ/パスタ液剤10ℓ、20ℓ、40ℓ/タッチダウンiQ6ℓ、20ℓ、200ℓ

抽選で300名様に **ただ今実施中**

彩の国黒豚肉プレゼント!

- ご購入時にお渡しするハガキに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご応募ください。
- 応募締め切り: 令和6年4月末消印有効(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

JAグループ
農協 全農 経済連

JAほくさい
ホームページ



JAほくさい

JAほくさい 2月号(No332) 2024年2月1日発行
編集・発行/ほくさい農業協同組合 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3
TEL 048-561-6911(代) URL (アドレス) <https://jahokusai.jp/>

